



えのしろ

四日市市立三重北小学校

令和7年9月29日 発



学校教育目標 「自ら考え、行動できる子どもの育成」

地域学習＜待ちに待った稲刈り 5年生＞

9月9日(火)に5年生が稲刈りをしました。一学期に田植え体験をした稲が、実りを迎えたからです。暑い中でしたが、子どもたちは鎌を手に頑張りました。親指を上にして稲の束を持つこと、できるだけ下の方を刈り取ることを教えてもらいながら作業を進めました。

手作業の後は、コンバインを見せていただきました。



手で刈り取ると大変ですが、コンバインで刈り取ると、たくさんの量を刈り取ることができます。社会で学習する「農業」だけでなく、鎌を持つことで「てこ」の原理、虫を観察…たくさんの学びを得ることができた活動となりました。収穫されたお米は、自然教室でいただきます。そのあとは、しめ縄づくりへと学習は続きます。地域の服部斎治様・樋口和美様にお世話になりました。

ました。ご協力ありがとうございました。

人権について考える 6年生

三重北小の人権・同和教育目標は、「差別や偏見を見抜き、それらをなくそうとする実践力をもった子どもを育てる」です。この目標を目指して、6年生で人権教育の授業研究を行いました。

人権教育は、「心の筋トレ」とも言われますが、じわじわと漢方薬のようになるよう、教師も子どもたちとともに学習を進めます。授業研究を行うことで、私たち大人も人権感覚が磨かれていきます。

この授業では、中世民衆に広まった差別意識が、人々の不安から広がったことを知り、差別をなくすためには正しい情報や自分の行動を見つめ直すことが大切であることを考え合いました。より子どもたちが自分事できるように、「もし引っ越しをするなら、どんな条件なら住めるか?」といった課題で話し合いました。

